

玄 関

玄関は、家の内外の接点であり、外出のしやすさに関わる場所です。加齢に伴う身体機能の低下により、靴を履き替えるときにバランスをくずしやすく、また、上がり框の段差につまずくなど、転倒の要因になりやすい場所でもあります。

- 車椅子利用の場合は、スロープや段差解消リフトを設置。
- 床材を滑りにくいものに変更。
- 式台を設け、段差を小さくする。
- ベンチを設け、靴の履き替えをしやすくする。
- 手すりを設け、立ちあがり動作を安定させる。

手すりとベンチ



ポイント

- ・靴を履き替える位置に縦またはL型手すりを設置します。
- ・手すりの端部は衣類が引っ掛からないよう、壁側または下側に曲げるようにします。

手すりと式台



ポイント

- ・玄関の段差が小さくなり移動が楽になります。
- ・式台は固定金具等で取り付けましょう。手すりとセットが効果的です。

かまち 上がり框付近の手すり



縦と横をつなぎ、縦を上へのはすと、動作がさらに安定する



アドバイス

左右とも同じような手すりの設置ですが、左は連続していないため不安を感じる場合があります。

手すりと可動式ベンチ



手すりとゆるやかな階段



仕上げがタイルなので、木製下地でななめ手すり取り付けを補強

ポイント

少し長めの手すりですら安心感があります。可動ベンチを設けることにより、靴の履き替えが楽になりました。

ポイント

高さをおさえたステップにより安心して上り下りができるようになります。